

Showcase Gallery

July 2024 → March 2025

横浜市民ギャラリーあざみ野 エントランスロビー

観覧無料

主催：横浜市民ギャラリーあざみ野
(公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団)

平瀬ミキ HIRASE Miki

ステイトメント

情報が溢れる現在の生活環境の中で目に届く範囲に多くの情報を見ることができるようになったからこそ、自身が何を見ようとしているのかを意識する必要があるのではないか、という考えから、人の見る力へアプローチするような手法での作品制作を行っています。近年では並行して電気というライフラインの上で発展した現代のデジタルデバイスや映像、画像の体験を、電気が失われた環境でも思い返すことができるような作品として、光と素材の組み合わせによる制作も展開しています。



略歴：武蔵野美術大学美術学部彫刻学科卒業、情報科学芸術大学院大学 [IAMAS] メディア表現専攻修了。主な個展に2019年「差異の目」新宿眼科画廊（東京）、グループ展に2023年「SEIAN ARTS ATTENTION 16 Error of Reality」成安造形大学「キャンパスが美術館」（滋賀）、2022年「第14回恵比寿映像祭」東京都写真美術館（東京）など。2022年「第25回 文化庁メディア芸術祭」新人賞、「やまなしメディア芸術アワード」Y-GOLD（最優秀賞）受賞。

近あづき KON Aduki

ステイトメント

見るために作られた存在であるが意識化に弾き出され認識されなくなるもの。意識的に見ないふりをするものに興味があります。ショーケースやその中の物品は物を見るために作られたにも関わらず、日常に溶け込み過ぎて、認識されない状態に陥る事があります。認識できないほど同化する事物は、環境づくりという面では成功している一方、自己矛盾を孕んでいます。日常の中に埋もれた、モチーフを再構築することで作品の意味と環境の変化を観察します。



略歴：1986年千葉生まれ。生家が洋裁教室だったことから糸や布がある環境で育ち、武蔵野美術大学在学中より、編み物技法を用いて立体作品を作り始める。作品制作の傍、国内外ブランドへのニットアイテムの制作、CMやテレビへの衣装、技術協力などを行っている。横浜・黄金町にて、家庭用編み機、手編みで自由を作る黄金町芸術学校あみもの講座を主宰。主な個展に2022年「よるのとばり」ONA project room（東京）など。

木ノ戸久仁子 KINOTO Kuniko

ステイトメント

陶芸の技法を用いて石を作っている。石を作る過程に於いて自らの妄想や想像を重ねる事で自然界には存在しない石を作っている。人工と自然の間を行き来しながら人間が作れる石とはどのような物質なのか、またその行為自体が人間讃歌に成るのではないかと考える。身体を使いながら考えたい。



略歴：1976年滋賀県生まれ。1995年に登り窯窯元の宗陶苑にて作陶を始める。同年、若手オブジェ集団「SEEDS」に参加。1998年ニュージーランドにて一年間作陶、2001年信楽窯業技術試験場釉薬科修了。現在、比叡平（滋賀県）を拠点に制作を行う。主な個展に2023年「いつかの石器時代」白白庵（東京）、グループ展に2024年「ギャルと自然」The Artcomplex Center of Tokyo（東京）、「根源的生欲！展」ルンパルンバ（石川）など。2008年に第19回秀明文化基金賞受賞。

WORK-SHOP

近あづき展 関連ワークショップ 身近な素材でダーニング！

「オタマ」と毛糸を使って、誰でも簡単にできるダーニングのワークショップを開催します。専用の機材や特別な糸を使わずに、ご家庭でも実践できる方法を学びます。穴が開いた衣類や、装飾したいアイテムをご持参ください。物を大切に使い続ける楽しさを学びながら、持続可能な暮らしを始めてみませんか。

※ダーニングとは：服に穴が開いてしまったときに、針と糸を使ってその穴をふさぐ方法。

① 2024年11月2日(土) 10:00～13:00

② 2024年11月10日(日) 13:00～16:00 ※①、②は同内容。

【講師】近あづき

【定員】小学4年生以上 各回12名

【参加費】3,000円(材料費込)

【申込開始】2024年9月20日(金) 10:00～(先着順)

【申込方法】ホームページ(右記QRコード)よりお申し込みください。



横浜市民ギャラリーあざみ野

開館時間 9:00-21:00(毎月第4月曜日休館)

〒225-0012 横浜市青葉区あざみ野南1-17-3

アートフォーラムあざみ野内

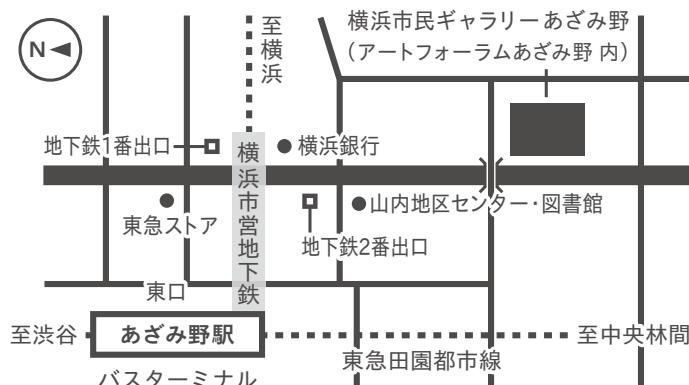
TEL:045-910-5656 / FAX:045-910-5674

Email:info@artazamino.jp URL:https://artazamino.jp/

【最寄り駅】東急田園都市線「あざみ野駅」東口 徒歩5分

横浜市営地下鉄「あざみ野駅」1・2番出口 徒歩5分

【駐車場】23台(有料)



横浜市民ギャラリーあざみ野では、新進アーティストの表現に出会う場として、
エントランスロビーのショーケースで展示を行っています。本展は3つのシリーズで構成します。

1 アーティスト ×
横浜市所蔵カメラ・
写真コレクション

2 黄金町エリア
マネジメントセンター
連携企画

3 陶の表現

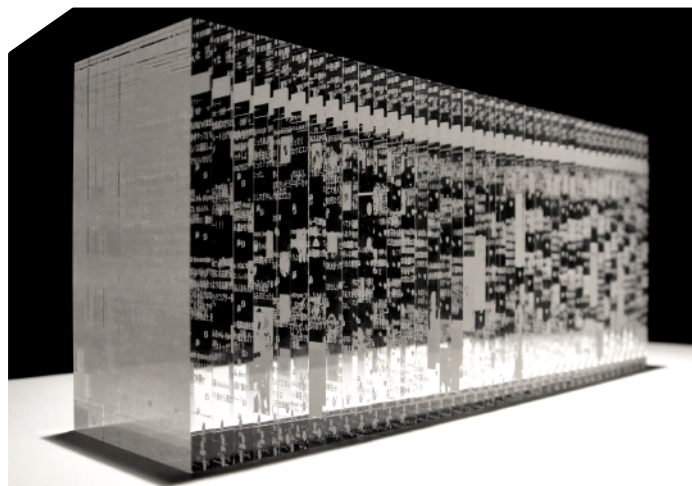
アーティスト × 横浜市所蔵カメラ・写真コレクション

1 平瀬ミキ展

2024/7/20sat → 9/16mon・hol

7月22日(月)、8月26日(月) 休館

私たちが生活の中で見るイメージとその背後にある情報テクノロジーとの関係性を起点に制作するアーティスト、平瀬ミキと、当館で収蔵する横浜市所蔵カメラ・写真コレクションとのコラボレーションによる展示を行います。平瀬は、コレクションに含まれるダゲレオタイプやアンブロタイプなど、焼き増しができない技法でつくられた19世紀の初期写真に着目しました。本展では、唯一のイメージとして大切にされた初期写真を手掛かりに私たちと写真との関わりを捉えなおした新作を展示します。



《window - “誰か”2017.8.13.10:44-10:39》2017年／アクリル板、レーザー加工



《bio topos / 辰巳庵》2020年／かぎ針編み、食品サンプル、綿糸、染色糸

黄金町エリアマネジメントセンター 連携企画

2 近あづき展

2024/9/21sat → 12/15sun

9月23日(月・祝)、10月28日(月)、11月25日(月) 休館

アートによるまちづくりを進めているNPO法人黄金町エリアマネジメントセンターとの連携企画として、同センターのレジデンスプログラムに参加している近あづきによる展示を行います。近は、その場所がもつ特性や環境に影響を受けながら、編み物で立体やインスタレーションを制作しています。今回の展示では、当館で使用している道具や素材とコラボレーションした新作を展示します。 協力：特定非営利活動法人黄金町エリアマネジメントセンター

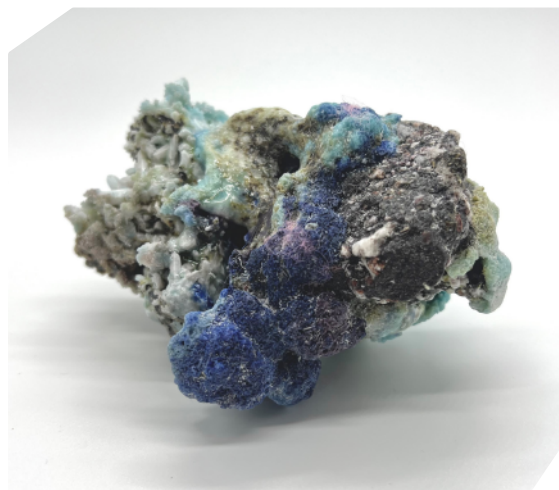
陶の表現

3 木ノ戸久仁子展

2025/1/11sat → 3/23sun

1月27日(月)、2月24日(月) 休館

「陶の表現」は、当館アトリエに陶芸窯があることを踏まえ、陶で制作する作家をご紹介しますシリーズ展です。本年度は、陶芸素材の土や鉱物が持つ長い時間軸や、自然と人工の関係を探りながら、「稀晶石」と名付けた石を制作する木ノ戸久仁子の作品をご紹介します。一見、自然界に存在する鉱石のようでありながら、その成立に様々な陶芸技法が駆使されている木ノ戸の作品は、私たちの自然に対する観念を攪乱します。



《稀晶石》2024年／陶土、水晶、釉薬